

# 予算のあらまし

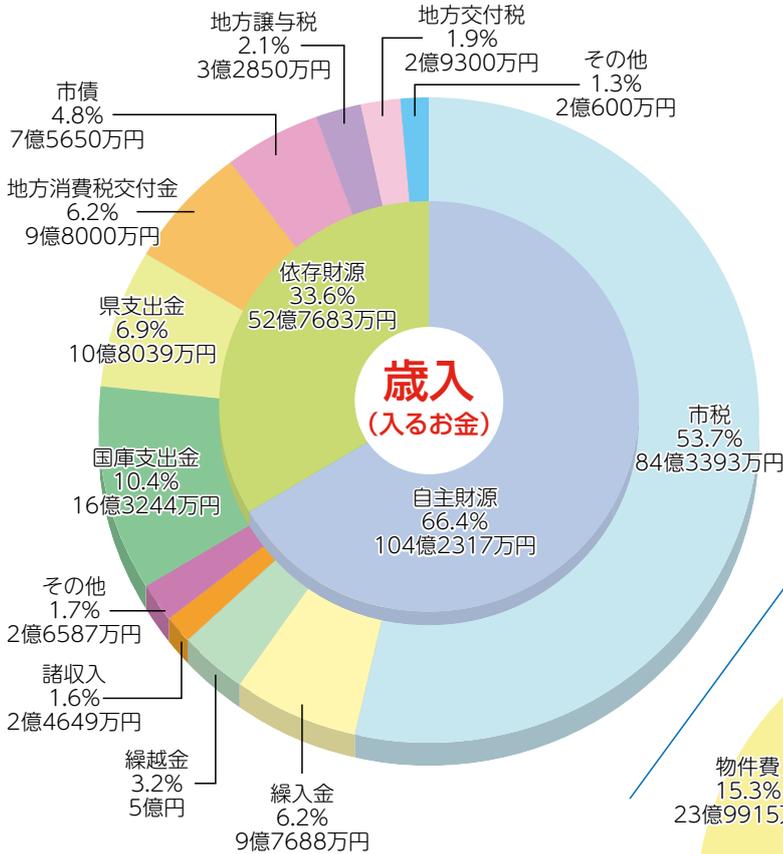
～安心安全を目指して～

一般会計	157億円
特別会計	80億円
企業会計	23億円
<b>合計</b>	<b>260億円</b>

## 一般会計

個人市民税	26億2800万円	法人市民税	3億8320万円
固定資産税	47億6400万円	交付金	2億6013万円
軽自動車税	1億1010万円	市たばこ税	2億8800万円
入湯税	50万円		

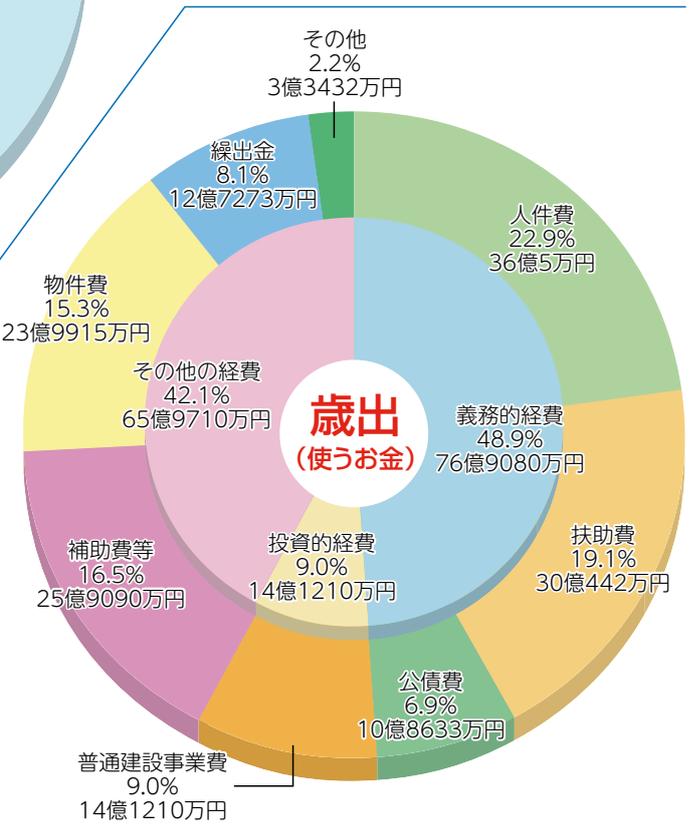
自主財源 104億2317万円  
依存財源 52億7683万円



新年度の自主財源は歳入総額の66.4%を占めている。市の歳入には、個人市民税・法人市民税・固定資産税・市たばこ税の市税や繰入金などの自主財源(この割合が高いほど財政が安定)と、国・県などから定められた額が交付されたり、割り当てられる収入の依存財源がある。

※数値は端数を調整しております

義務的経費 76億9080万円  
投資的経費 14億1210万円



歳出を性質別経費に応じて分類すると人件費、扶助費、公債費など経常的に歳出が義務づけられ、任意に削減することができない**義務的経費**(この割合が小さいほど財政にゆとりがある)と、普通建設事業費や災害復旧事業費などの**投資的経費**がある。

※ 合併市町村に係る普通交付税の算定方法の特例で、合併後の一定期間に限り、普通交付税の額が合併前の状態における額より減少しないようにするための特別な算定方法

令和2年度の当初予算は一般会計約157億円、特別会計(4会計)80億円、企業会計23億円、総額は約260億円、前年度比約2%の減となった。歳入において合併後10年を経過し、**※合併算定替え**が段階的に縮減され普通交付税額の減額が見込まれる。歳出では会計年度任用職員の制度が始まり、臨時職員の待遇が向上され、人件費が前年度より約31.8%伸びている。主な新事業として、市営火葬場建設事業、ふるさとやとみ応援寄附金支援委託料、海部南部権利擁護センター運営等委託料、高齢者安全運転支援装置補助金、特定不妊治療費助成事業補助金などがある。

議員紹介  
3月臨時会のあらまし  
令和2年度当初予算  
3月定例会のあらまし  
委員会レポート  
議案等の賛否状況  
選挙公営にかかる執行経費  
おしらせ